

■ 狛江市基本計画推進委員会の行政評価について

1. 評価の種類について

評価対象施策（重点化した方向性）ごとに作成された資料を確認し、2つの評価を行う。

- (1) 評価対象施策（重点化した方向性）に対する評価
- (2) SDGsに対する評価

2. 評価の視点について

- (1) 評価対象施策（重点化した方向性）に対する評価

評価対象施策（重点化した方向性）に対して、各種取組が着実に進んでいるかという点について、3つの視点をもって行政評価を行う。

- ◆ 狛江らしさの視点（特性を活かした事業展開の確認）
- ◆ 市民参加・市民協働の視点（適切な役割分担の確認）
- ◆ 経営的な視点（最少経費・最大効果の確認）

→評価の視点については、施策評価シートの「2 施策に係る取組内容」、「3 指標」、「4 施策に係る取組の事業費」及び「5 総括」を確認しながら、評価の視点と照らし合わせた上で提言を行う。

* 評価の視点のポイント *

- ◆ 狛江らしさの視点（特性を活かした事業展開の確認）

【独自性】

「コンパクトさ」や「水と緑の豊かさ」等の狛江市の特性や魅力を活かした取組ができているか。等

- ◆ 市民参加・市民協働の視点（適切な役割分担の確認）

【市民参加と市民協働】

対象となる市民に十分に周知を行い、参加できる・関わることのできる取組であるか。

市民、団体及び企業と連携して事業を展開することができているか。等

- ◆ 経営的な視点（最少経費・最大効果の確認）

【必要性】

市が主体的に実施する必要がある取組か。

また、将来的にも市民ニーズがある（ありそうな）取組か。等

【有効性】

評価対象施策（重点化した方向性）の達成に対して貢献度は高いか。等

【効率性】

投入したコストに対して見合っている効果が得られているか。等

(2) SDGsに対する評価

SDGsの17のゴール示す目標に対して、太線部分の取組及び指標を照らし合わせた上で、取組が進められているかという点について、行政評価を行う。

例) SDGs ゴール1「貧困をなくそう」

SDGs						
	目標	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる				
狛江市の関連施策	・子どもの貧困の連鎖の防止					
狛江市の取組	①子ども食堂の補助件数					
		H30	H31	R2	R3	R4
	件数					
	②奨学金の支給件数					
	関連する狛江市の取組・指標を掲載				R4	
件数						
子ども医療費助成件数						
	H30	H31	R2	R3	R4	
件数						
成果	〇〇等の取組を実施することにより、××の指標の数値が上昇し、子どもの貧困対策に対して一定の成果を出すことができ、SDGs ゴール1「貧困をなくそう」の目標に寄与することができた。					

3. 提言について

評価対象施策（重点化した方向性）に向けて取組を進められているか、また SDG s のゴールに示す目標に向けて取組を進められているか、作成した資料等をもとに、提言を行う。

（1）評価対象施策（重点化した方向性）に対する評価

評価対象施策（重点化した方向性）に向けて取組を進められているか、評価対象施策ごとにそれぞれ提言を行う。

* 提言のポイント *

評価対象施策の達成に対して、

- ①よりよい取組となるよう、取組に対する意見
- ②評価できる取組に対する意見

（2）SDG s に対する評価

今年度評価対象施策と SDG s の 17 のゴールを関連付け、総括として SDG s 全体としての提言を行う。

* 提言のポイント *

SDG s の 17 のゴールの目標に対して、

- ①よりよい取組となるよう、取組に対する意見
- ②評価できる取組に対する意見

参考（令和4年度狛江市基本計画推進委員会提言書より（一部抜粋））

SDG s の 17 ゴールに係る分野からの視点

SDG s は 17 のゴールより構成されており、基本計画においても各ゴールと各施策の関係を位置付けていただき、達成に向けて取組を進めていただいている。

各ゴールと施策を位置付ける関係は分野ごとに分かれているものではなく、あらゆる要素を含んだものであり、バックカスティング（※）の視点から組織横断的に各分野から 17 ゴールに対する課題や目標となり得る施策に向けて連携し、取組を進めていただきたい。

※バックカスティング

未来のある時点に目標を設定しておき、そこから振り返って現在すべきことを考える方法